



## 学習発表会へのご参加・ご支援

### ありがとうございました。

11月16日(土)本校の学習発表会を行いました。Google Formを使い観覧していただいた皆様にご意見をお願いしたところ、本当に多くの方がコメントを寄せてくださいました。職員一同感謝しながら読ませていただきました。多くのご意見やご示唆をいただきました。次年度におけ反映できる点については改善を進めて参ります。とても嬉しかったのは、「子どもたちの生き生きとした笑顔と姿が見えて嬉しかったです。」

「学年毎に趣向が凝らされていて、子どもたちが主体的に考え、取り組んだ様子がかうかがえました。ありがとうございました。」

といったような、本校が今年度大切にしている方向性を踏まえた上で、発表会を観ていただいた保護者の方々の声があり、それが届いたことです。

私たち職員も人間です。認められ誉めていただいた言葉は明日への活力に変わります。お忙しい中、皆様方が届けてくださったメッセージ、大切にします。ありがとうございました。



## 記録と記憶

変な写真を突然お見せして申し訳ありません。しかし、ちょっと一緒に考えてみたいことがあり、掲載させていただきました。この写真は何かというと、学習発表会で子どもたち側から見える多くの保護者の方の姿です。この姿がずらっと並んだ景色を想像してみてください。

私たちは便利な機械を手にし、生活は一変しました。私ももちろん活用しています。(活用させられているのかも知れませんが)録画機能もあり、記録として残しておきたくります。その気持ちはとてもよく分かります。ただ言えるのは、私も子育てをしてきましたので実感として感じることは、画面越しに見たものは、記録には残りますが記憶には残りにくいということです。

また、子どもたちは保護者の方の表情が見えないこの景色をどのように感じるのでしょうか。「普通」と感じているなら、それも怖いと思いませんか。

私が子どもなら、ニコニコした表情を見てホッとしたい気がします。がんばれ!という気持ちが表情から伝わって、ちょっと姿勢を正したりするような気がします。相手の反応を見て感じる、つまりこれがコミュニケーションの基本だと私は思うのです。

コロナ禍のマスク生活の影響で、相手の表情の変化が見えにくくなったことが、人間関係に大きな影響を与えていると言われています。例えば口元が見えないので、目つきや目線に過敏に反応したり、相手の表情が見えないことで、子どもたちが他者の気持ちを表情から推察できにくくなったりしているといった研究報告もあります。また、機器を持っていますので、拍手したくてもできない場面もあったのではないのでしょうか。

子どもたちにとっては、笑顔で力いっぱい拍手を送ってくださる保護者の方の姿が何よりのご褒美のはずです。それを私たち大人は、子どもたちに届けてあげられているのでしょうか。

何が正しいとか間違っているといった話ではなく、ちょっと一緒に考えてみてくださると嬉しいなと思い、書かせていただきました。

## 学校評価について

いよいよ12月。皆さんにとって1年間は早いですか?子どもにとっての1年間はとても長いようですが、大人の時間感覚は、どんどん短くなっていくそうです。原因は・・・「新しい学び、刺激が減るから」だそうです。

学校は来年度の計画を立てていく時期となります。その上で、保護者の方や子どもたちからの評価は、大変重要な資料となります。よかったところは遠慮せずよかったと・・・もっとこうなるといいなと感じられるところも率直にご回答いただけると嬉しいです。

ぜひ前向きな検討や改善を行いたいので、改善案も合わせて示していただくと大変うれしいです。すべてのご要望にお応えすることはできません。しかし、学校として、真摯によりよい方向へ進んでいけるよう尽力することはお約束いたします。お力添えをどうぞよろしく願いいたします。